

# WHC5M

保証書付



### 付属品

カメラ用ACアダプター	1個
(コード約1.8m)	
モニター用ACアダプター	1個
(コード約1.4m)	
カメラ用アンテナ	1本
アンカー(カメラ設置用)	3本
ねじ(カメラ設置用)	3本
六角レンチ(カメラ角度調整用)	1個
録画用microSDカード	1枚

**本機は、防犯を保証する機器ではありません。**

ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。  
予めご了承ください。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

# 目次

## はじめに

特長	3
安全上のご注意	4
ご使用になる前に	
使用上のご注意	7
必ずお読みください	7
無線電波についてのご注意	8
人感センサーによるモーション検知について	8
日時設定について	9
microSDカードについて	9
商標について	9
本機の譲渡や廃棄をするときのご注意	9
各部の名称	10

## 設置する

必要な物を準備する	12
映像確認をする	13
カメラを設置する	14
microSDカードを挿入する	16

## 初期設定

メニュー画面を表示する	17
フリッカー防止の設定をする	18
日時を設定する	19
録画する時間帯・録画の方法を設定する	20

## 操作する

モニター画面のアイコンについて	22
カメラの映像・音声を切換える	23
カメラの音量を調整する	24
録画したカメラの映像を見る	25

## 詳細設定

映像解像度の設定	26
明るさの設定	27
モーション検知感度の設定	28
録画時間の設定	29
microSDカードの初期化	30
上書き録画の設定	31
パワーセーブの設定	32
表示言語の変更	33
初期値(工場出荷時の状態)に戻す	34
ソフトウェアアップデートをする	35
ソフトウェアバージョンの確認方法	35
警報音の設定	36
警報音量の設定	37
警報音の繰返し間隔の設定	37
カメラを2台使用するとき	38
表示するカメラを選択する	39

## 必要なとき

故障とお考えになる前に	40
規格表	41
お手入れとメンテナンスのご注意	43
別売品	43
保証書	44

## ● かんたん設定

カメラとモニターのACアダプターをACコンセントに差込んで、モニターの電源スイッチをONにするだけで、カメラ映像がモニター画面に表示されます。  
モニター画面のメニュー操作だけで利用できます。

## ● 720(解像度1280H×720V)ハイビジョンカメラ

モニターの解像度は800H×480Vとなります。

## ● 防じん・防水(IP66)のワイヤレスカメラ

屋内はもちろん、屋外にも対応できます。  
(完全防水ではありませんから、軒下など直接雨がかからない場所をお勧めします)

## ● 夜間撮影対応

カメラに赤外線投光器を内蔵していますから夜間撮影も可能です。  
(赤外線撮影により、白黒映像となり、明暗に差が出る場合があります)

## ● カメラを2台まで接続可能

カメラを2台まで接続してモニターに表示できます(2台同時録画可能)  
当社製品 増設カメラ **WHC7M-C**または**WHCHD-CI**(別売品)をご利用ください。

## ● 人感センサーによる、モーション検知カメラ

人感センサーが動くものを検知すると、モニターに挿入したmicroSDカードに録画できます。

## ● 5インチタッチパネル式液晶モニター

タッチパネルですから、操作が簡単です。(モニター解像度 800H×480V)

## ● microSDカードレコーダー

モニターにmicroSDカード挿入口を搭載していますから、microSDカードにカメラ映像を録画できます。また録画モードは、モーション検知、スケジュール、マニュアルから選択できます。(microSDカードは消耗品ですから定期的な交換をお勧めします)

## ● 充電式バッテリー内蔵のモニター

モニターは、充電式のバッテリーが内蔵されていますから、電波の届く範囲内で自由に移動できます。(モニターは非防水です)

## ● ソフトウェアアップデート

microSDカードを使用して、ソフトウェアのアップデートが行えます。

- 付属のACアダプターは、WHC5M用です。WHC5M以外に使用しないでください。また、他の機器のACアダプターをWHC5Mに使用しないでください。
- 付属のACアダプターの使用方法は、取扱説明書をご覧ください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

## 絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

## 警告

- 本機や付属品などを包装しているポリ袋、および、アンテナなどの細かい部品は、お客様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
  - ・押し入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
  - ・布や布団でおおったり、包んだりする。

## 警告



- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、ACアダプターを扱差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
- 本機にホースなどで直接水をかけないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源(AC100V)を入れたまま配線工事をしないでください。感電の原因となります。
- 雷のときは配線工事をしないでください。火災・感電の原因となります。
- ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつながないでください。電気設備技術基準で禁止されています。接続に不備があると、火災・感電の原因となります。



- 万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音ができるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本機はACコンセントの近くに置いて、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。
- ACアダプターは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と組合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
- 本機を壁面に取付けて使用するときは、堅固・確実に取付けてください。不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、ベニヤ板など]には取付けないでください。落下により、けがの原因となります。

## ⚠ 警告



- 配線工事は安全・確実に行なってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。
- 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。
- ケーブルの接続時は、防水ボックス、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行なってください。火災・感電の原因となります。
- 本機を壁面や天井に設置するときは、配線や配管を傷つけないように取付けてください。配線や配管などを傷つけると、火災・感電の原因となります。

## ⚠ 注意



- 本機やACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機やACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。



- 本機を移動させる場合、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- 土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をしてください。感電の原因となることがあります。

## 使用上のご注意

- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。本機が故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。  
ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。  
撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、microSDカードへ正常に録画できなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、microSDカードへカメラ映像を録画できますが、カメラとモニターの通信状態により、録画が途切れたり、停止したりすることがあります。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近付けないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
- エアコンの室外機の風が直接当たる場所に設置しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 高温・高湿となる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
- ACアダプターを第2種環境(商業、軽工業、および工業用環境)の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 周囲温度0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- センサーやカメラのレンズには手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 塩害地域ではご使用できません。

## 必ずお読みください

本機を設置する前に、必ず動作確認を行なってください。

はじめに、移動できる場所でカメラの映像がモニター画面に表示されることを確認してください。次に、設置場所近くの環境でもカメラの映像がモニター画面に表示されることを確認してください。

- 設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響により電波が減衰したりして、正常に作動しないことがあります。

## 無線電波についてのご注意

本機の無線電波の周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、免許を要する工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用構内無線局や、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局で適用されています。

このため、電波の干渉による無線通信の障害を防止するため、以下の点にご注意ください。

- ・ 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合、速やかに本機の使用場所を変えるか、無線LANの使用を停止してください。

### 本機の無線の電波について

2.4 FH 8

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を表します。
- FH : FH方式(周波数ホッピング方式)変調であることを表します。
- 8 : 想定される干渉距離が80m以下を表します。
- — : 使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを表します。

不明な点、その他お困りのときは、技術相談まで、お問合わせください。

## 人感センサーによるモーション検知について

本機は、カメラの赤外線人感センサーにより、赤外線を検知して作動します。

そのため、下記のような場合には、誰もいないのに検知することや逆に検知しないことがあります。故障ではありません。

- 検知距離：約7m(夜間は検知距離が短くなります)

誰もいないのに検知する場合(例)

- ・ 犬、猫、鳥などのペットや、炊飯器、電気ポットなどの蒸気を検知している。
- ・ カメラの前に動くものがある。
- ・ 直射日光など強い光が当たる場所に設置している。
- ・ エアコンの風が直接当たる場所にカメラを設置している。
- ・ 不安定な場所に設置している。

検知しない場合(例)

- ・ カメラの前に障害物がある。(障害物を取除いてください。)
- ・ カメラの周囲温度が高い。(周囲温度の低い場所に設置してください。)

### モーション検知の特性

カメラを横切る動きは検知しやすく、カメラの正面から近づく動きは検知しにくくなります。

## 日時設定について

本機には時計機能があり、映像に日時を記録できます。

この時計機能は内部のクロックで作動しているため、月差約1分程度の誤差となりますから、定期的に正しい時刻に日時設定を行なってください。

## microSDカードについて

モニターのmicroSDカード挿入口にmicroSDカードを挿入することで、カメラの映像を録画できます。

本機は、下記のmicroSD規格によるmicroSDカードが使用できます。

カードの種類	microSDHC/microSDXCメモリーカード(クラス10以上)
メモリ容量	最大256GB

- 上記規格を満たす、すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードは消耗品ですから定期的な交換をお勧めします。
- microSDカードを挿入するときは、モニターの電源をOFFにしてから行なってください。
- microSDカードを取出すときは、録画中でないことを確認してください。  
録画中にmicroSDカードを取出すとデータが破損することがあります。

## 商標について

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 本機の譲渡や廃棄をするときのご注意

本機の譲渡や廃棄をする場合、プライバシー情報の漏えいなどを防止するために、下記の点にご注意ください。

- 本機のシステム設定を初期化して、設定した情報を消去する。  
[システム設定を初期化する方法は、p.34をご覧ください]
- 本機にmicroSDカードを挿入しているときは、microSDカードを取出す。

本機のモニターに内蔵されている充電式のバッテリーは、リサイクル可能です。この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールにしたがってください。

お客様自身で廃棄できない場合は、当社の技術相談にお問い合わせのうえ、送付ください。

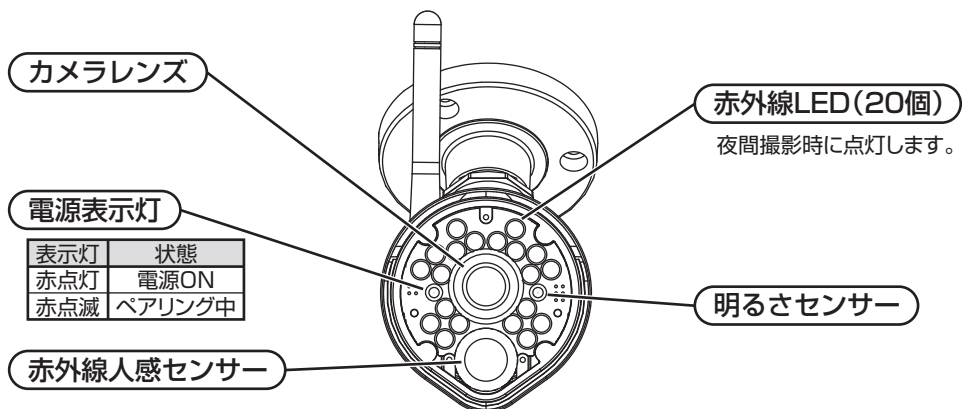
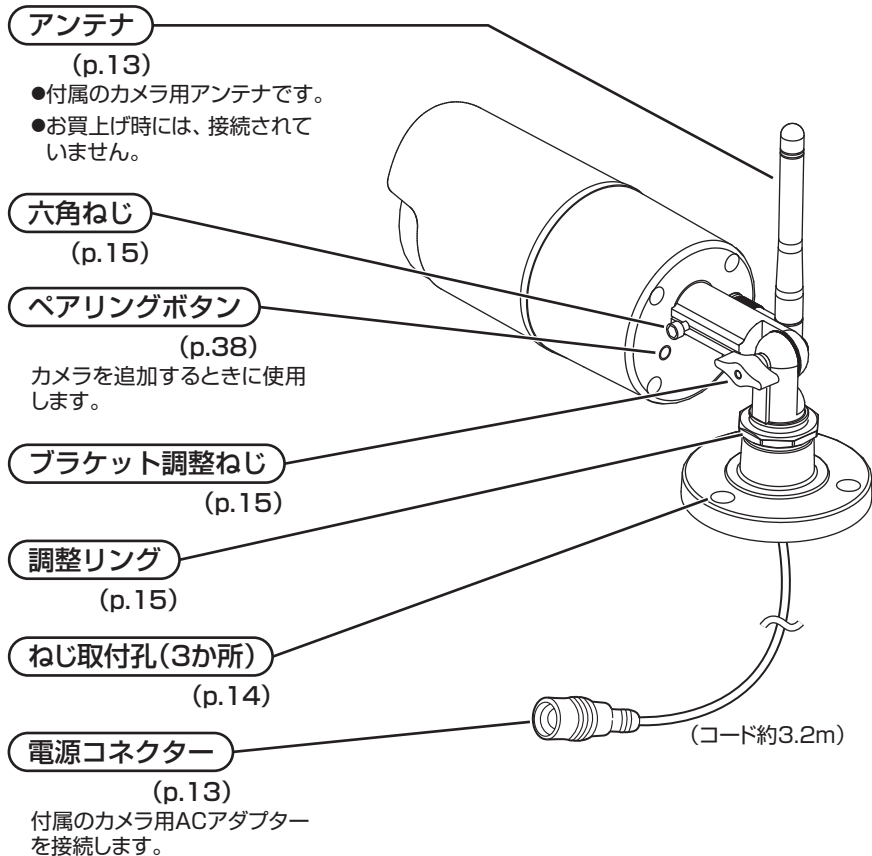
- 配送料はお客様のご負担となります。

技術相談電話番号

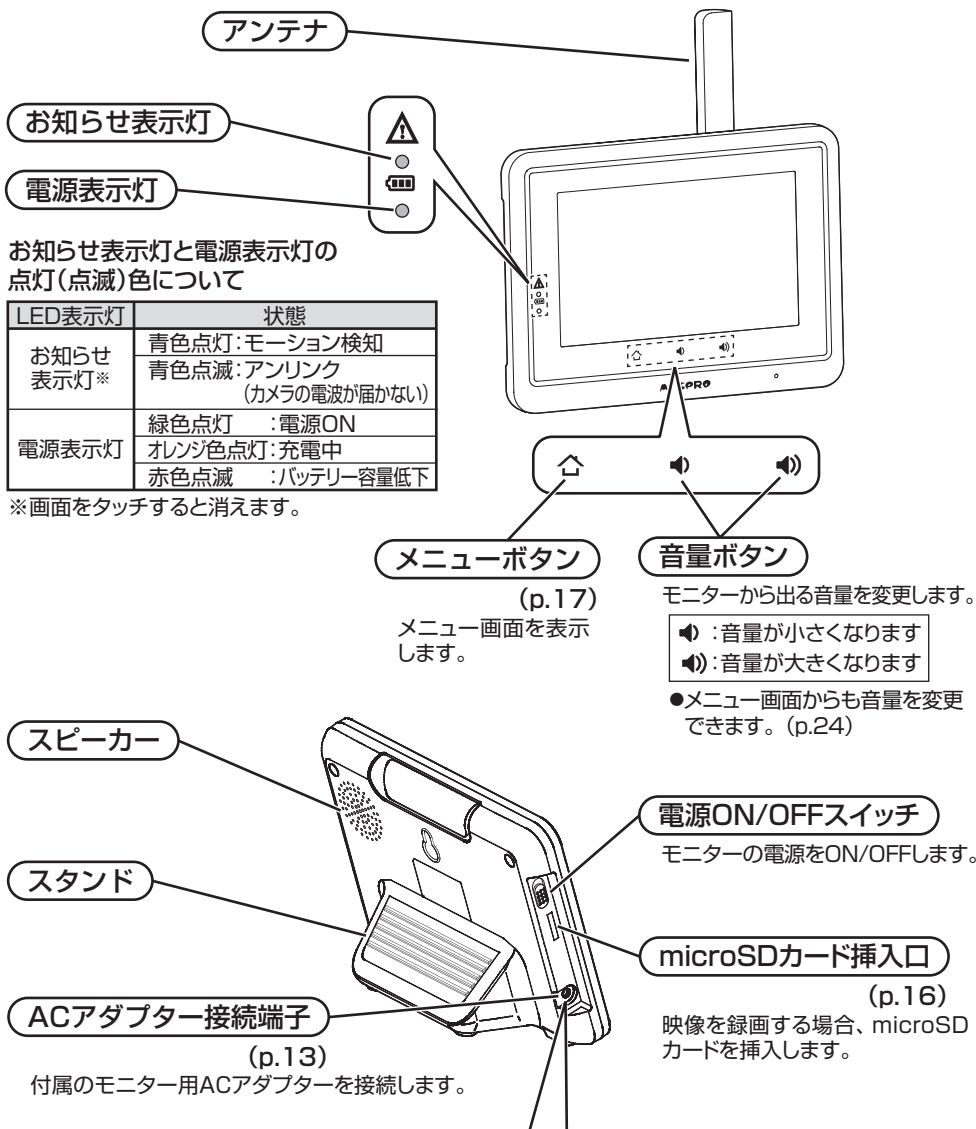
 **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**  
受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

## カメラ

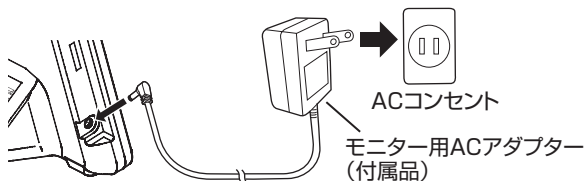


## モニター



### モニターの充電方法

ACアダプター接続端子に付属のモニター用ACアダプターを接続します。

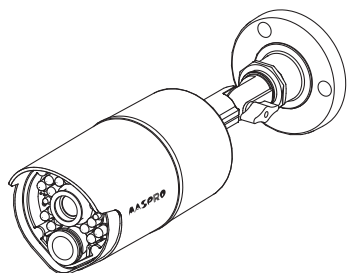


# 必要な物を準備する

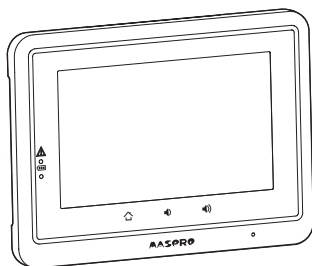
設置する

はじめに以下のものを準備します。

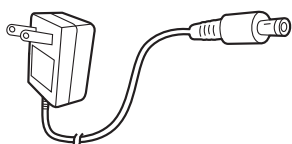
カメラ



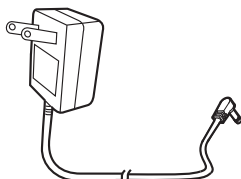
モニター



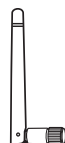
カメラ用ACアダプター  
(コード約1.8m)(付属品)



モニター用ACアダプター  
(コード約1.4m)(付属品)



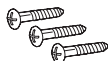
カメラ用アンテナ  
(付属品)



アンカー(3本)  
(付属品)



ねじ(3本)  
(付属品)

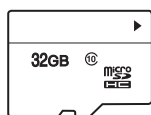


六角レンチ  
(付属品)



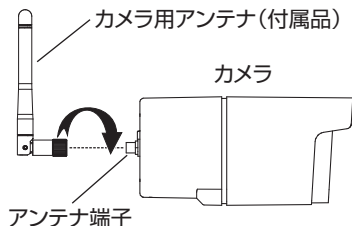
録画用microSDカード(付属品)

(クラス10、容量:32GB  
●仕様は予告なく変更することがあります)



## 1. カメラの準備をする

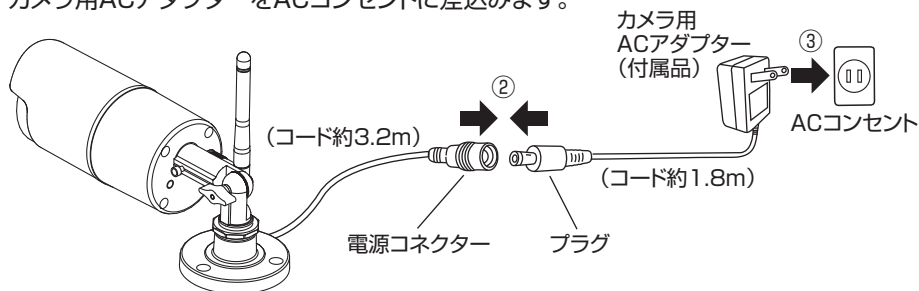
- ① カメラ背面のアンテナ端子に、付属のカメラ用アンテナを接続します。  
●カメラ用アンテナを差込んで右に回します。



### ご注意

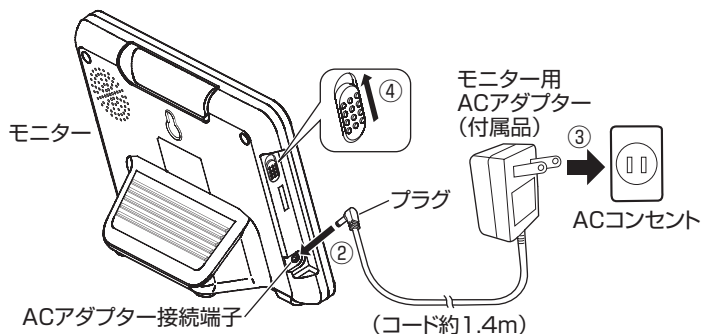
- アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。
- アンテナが接続されていないと、モニターで映像を見ることができません。
- アンテナ端子の防水のため、アンテナはしっかりと締付けてください。

- ② カメラの電源コネクターと付属のカメラ用ACアダプターのプラグを接続します。
- ③ カメラ用ACアダプターをACコンセントに差込みます。



## 2. モニターの準備、映像確認をする

- ① モニター画面の保護フィルムをはがします。
- ② モニターのACアダプター接続端子に、付属のモニター用ACアダプターのプラグを接続します。
- ③ 付属のモニター用ACアダプターをACコンセントに差込みます。
- ④ モニターの電源をONにします。
- ⑤ モニター画面にカメラの映像が映っていることを確認します。




## 設置上のご注意

- 落下事故や製品故障、その他工事に関わる問題について、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- カメラの電源コネクタ、およびACアダプターは防水構造ではありません。**屋内に設置、またはコネクタ部を自己融着テープなどで防水処理をして設置してください。
- カメラを使用しなくなった場合は、必ず撤去してください。そのまま放置すると、落下によりけがの原因となることがあります。

## 1. カメラの設置場所を決める

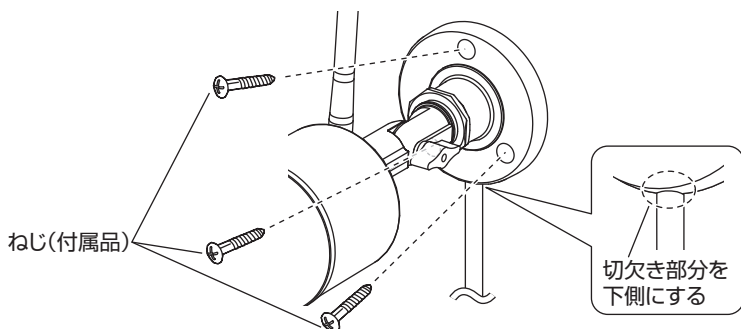
以下の点に留意し、本機の設置場所を決めてください。

- カメラを仮設置した後に、撮影範囲や動作を確認し、配線と設置を行なってください。
- カメラとモニターの通信距離は、見通しがよく他の電波の影響を受けない環境において、最大300mです。カメラとモニターの間壁など(木造壁・床、金属製のドア、コンクリート、鉄骨、金属の障害物)がある場合には、電波が減衰して使用できる距離が短くなります。(木造建築の場合、**10～40m**が目安となります。コンクリートの壁面をまたぐ場合、使用できません)・良好に利用できる電波の強さは、モニター画面(p.22参照)で  (3本以上)が目安になります。
- カメラを2台使用する場合、カメラ同士3m以上の間隔をあけて設置してください。
- カメラをセンサーライトの近く(目安距離:5m)に設置した場合、夜間にセンサーライトの光が照らされると、カメラに搭載している照度センサーが反応し、暗視撮影できなくなることがあります。
- 2セット以上を同一場所に設置することはできません。
- カメラは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

## 2. カメラを壁面に取付ける

付属のねじ(3本)でカメラを壁面にしっかりと取付けます。

- 壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合は、p.15をご覧ください。

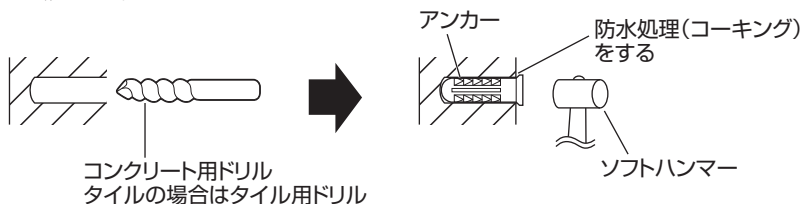
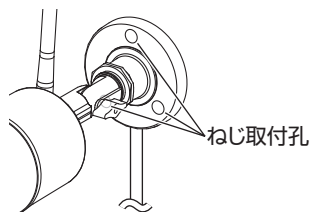


### ⚠ 警告

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、コンクリートブロック、ALC(軽量気泡コンクリート)、ベニヤ板など]には取付けしないでください。また、カメラを取付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取付けてください。落下によりけがの原因となります。
- 壁面内の配線や配管を傷つけないように取付けてください。ねじなどで、配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。

## 壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合

- ① カメラを設置したい位置に合わせ、ねじ取付孔から印を付けます。
- ② 印に合わせて下図のようにドリル(φ6.4mm)で穴を開け、アンカーを差込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。  
●アンカーは壁面に挿入したら、コーキングしてください。



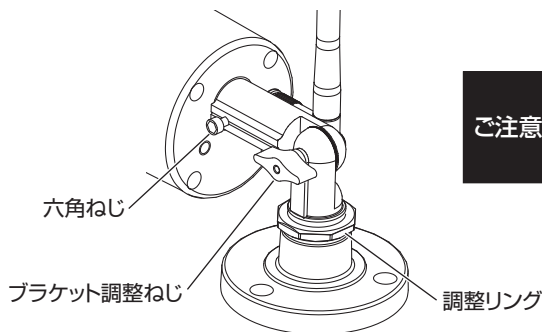
- ③ 前ページの図のように、付属のねじ(3本)で壁面に取付けます。

### ご注意

- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼することをお勧めします。壁への穴開け工事について、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますから、注意して穴開けをしてください。

## 3. カメラの角度を調整する

- ① カメラとモニターの電源を入れます。
- ② モニターで映像を確認しながら、六角ねじ、ブラケット調整ねじ、調整リングをゆるめて、カメラの角度を調整します。  
●六角ねじは、付属の六角レンチを使用してゆるめます。
- ③ 角度を調整後、六角ねじ、ブラケット調整ねじ、調整リングをしっかりと締付けます。




### ご注意

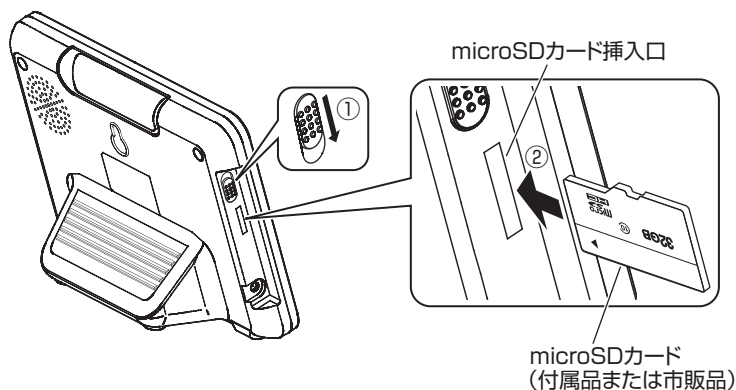
カメラを回転させるときは、ケーブルのねじれに注意してください。

# microSDカードを挿入する

設置する

- microSDカードに撮影した映像を保存できます。
- 映像を録画しない場合、microSDカードは必要ありません。
- microSDカードについては、「microSDカードについて」(p.9)をご覧ください。
- microSDカードは初期化(p.30)を行ってから使用してください。
- microSDカードの抜き差しをするときは、モニターの電源をOFFにしてから行ってください。

- ① モニターの電源をOFFにします。
- ② microSDカードをmicroSDカード挿入口に図のように挿入します。  
●ロゴ表示面をモニター背面側にして挿入してください。
- ③ 「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。
- ④ モニターの電源をONにします。[画面に  アイコン(p.22参照) が出ていることを確認します]  
●microSDカードを認識しない場合、モニターの電源をOFFにしてmicroSDカードを抜き、再度、挿入してください。



## 録画時間の目安 (上段)カメラ1台の場合 (下段)カメラ2台の場合

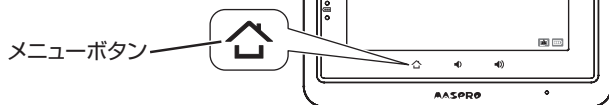
画質	microSDカード容量				
	256GB	200GB	128GB	64GB	32GB(付属品)
HD	280時間	218時間	139時間	69時間	34時間
VGA	344時間	271時間	173時間	86時間	43時間

画質	microSDカード容量				
	256GB	200GB	128GB	64GB	32GB(付属品)
HD	140時間	109時間	70時間	35時間	17時間
VGA	172時間	136時間	87時間	43時間	22時間

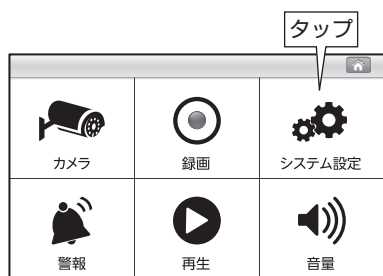
# メニュー画面を表示する

初期設定

- ① モニターの「メニューボタン(🏠)」を押す
  - メニュー画面が表示されます。
  - メニュー画面表示後、なにも操作しないと、1分後にカメラ映像画面に戻ります。



- ② 設定する項目をタップする
  - 設定画面が表示されます。



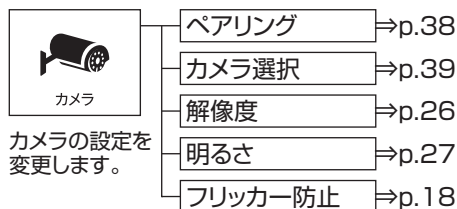
メニュー画面



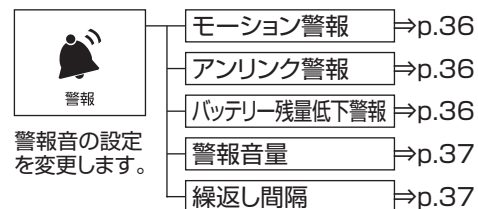
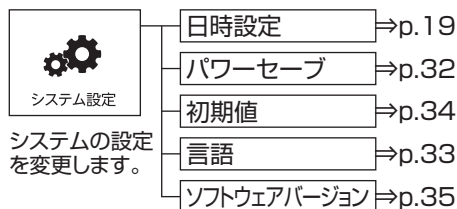
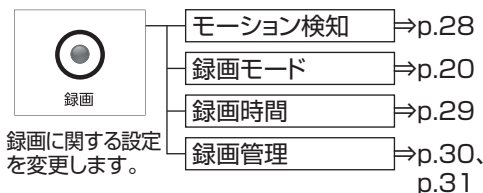
設定画面

## メニュー一覧

### サブメニュー



### サブメニュー



録画した映像を再生します。



カメラの音量を調整します。


# フリッカー防止の設定をする

初期設定

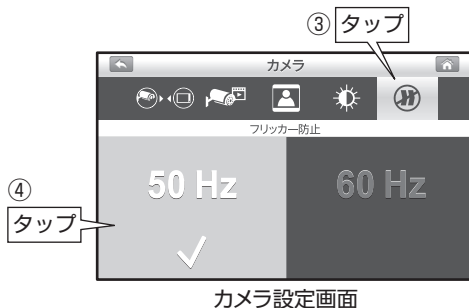
ご利用の地域に合わせて、電源の周波数を設定します。


- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「カメラ」をタップする  
●カメラ設定画面が表示されます。



- ③  (フリッカー防止)をタップする
- ④ ご利用の地域の周波数をタップする  
●確認画面が表示されます。

50Hz: 東日本  
60Hz: 西日本



- ⑤ 「✓」をタップする  
●設定を保存します。
- ⑥  をタップする  
●カメラ映像画面に戻ります。




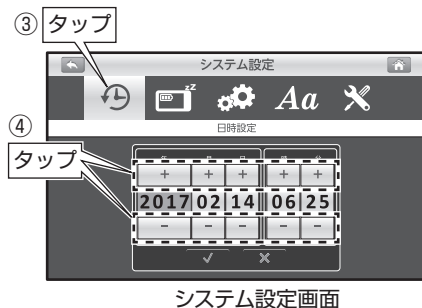
モニター画面への表示、および録画映像に記録するための、日時を設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「システム設定」をタップする  
●システム設定画面が表示されます。




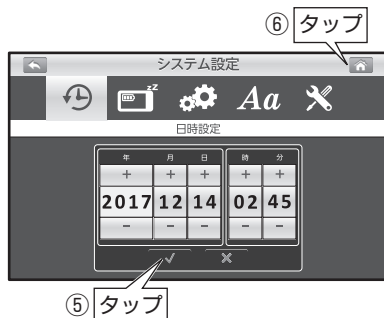
メニュー画面

- ③  (日時設定)をタップする
- ④ 「+」と「-」をタップして  
日付と時刻を設定する



システム設定画面

- ⑤ 「✓」をタップする  
●設定を保存します。
- ⑥  をタップする  
●カメラ映像画面に戻ります。



## ご注意

本機には時計機能があり、映像に日時を記録できます。内部クロックで動作しているため、月に約1分程度の誤差があります。定期的に正しい時刻に日時設定を行なってください。

# 録画する時間帯・録画の方法を設定する

初期設定


- 録画を行う、曜日、時間帯を設定します。
- 録画方法は、モーション検知録画(人感センサー検知時に録画)、スケジュール録画(常時録画)、マニュアル録画(手動録画)の3種類があります。

① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)

② 「録画」をタップする  
●録画設定画面が表示されます。



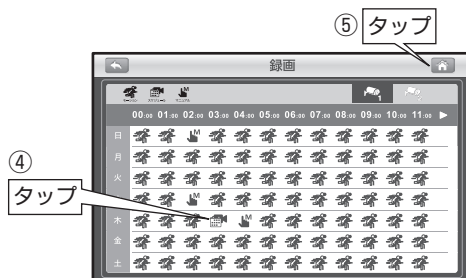
メニュー画面

③  をタップする  
●録画モード画面が表示されます。




録画設定画面

④ タップして、録画方法および録画を有効にする時間帯を設定する  
●曜日、時間帯単位で録画方法の設定ができます。  
●録画モード画面の操作方法については、次ページをご覧ください。

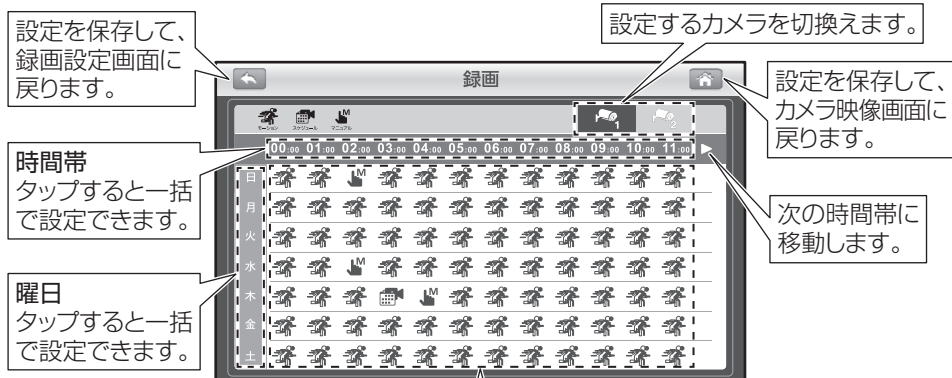


録画モード画面






⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

以上で初期設定は終了です

## 《録画モード画面の操作方法》



**録画方法** タップするたびに録画方法が切り替わります

-  **モーション検知録画** : 人感センサーで検知したときのみ録画します。
  - 録画モード画面(上記)で録画する時間帯を設定します。
  - 録画は最後のモーション検知から30秒後に停止します。
-  **スケジュール録画** : 常に録画します。
  - 録画モード画面(上記)で録画する時間帯を設定します。
-  **マニュアル録画** : 手動で録画します。
  - 録画方法
    1. モニター画面の  (p.22参照) をタップする  
(アイコンが赤色に変わり録画を開始します)
    2.  をタップする  
(アイコンが白色に変わり録画を停止します)


## ご注意

すべての曜日・時間帯をスケジュール録画に設定した場合、microSDカードを取出すときは、その時間帯の設定をマニュアル録画にして、録画を停止させてください。

## カメラ番号

カメラ番号を表示します。

 (白色): カメラの映像と音声を出力

 (灰色): カメラの映像のみ出力

## 電波の強さ

モニターが受信している電波の強さを表示します。

●良好に利用できる目安は3本以上です。

    
 強い ← 電波 → 弱い

## 録画モード

録画方法を表示します。


 : モーション検知録画

 : スケジュール録画

## 録画状態

●録画状態を表示します。


 (赤色): 録画中

 (白色): 録画停止中

●マニュアル録画(手動録画)をすることができます。

《録画方法》

 をタップする  
 (アイコンが赤色に変わり録画を開始します)


 をタップする  
 (アイコンが白色に変わり録画を停止します)

## バッテリー状態

バッテリーの残量を表示します。

 →  →  →   
 最大 ← 残量 → なし

 : 充電中

 : 充電完了

## 映像解像度

表示している映像の解像度を表示します。


 : VGA(640H×480V)

 : HD(1280H×720V)

## microSDカードの状態

microSDカードの状態を表示します。

 : microSDカード挿入中

 : microSDカードの空き容量なし

 : microSDカード未挿入

## カメラ映像の切替え

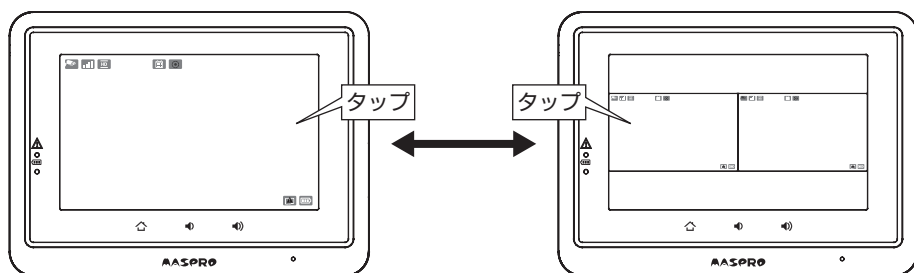
カメラを2台接続している場合、画面を分割して表示できます。

### ご注意

カメラ選択の設定を変更しないと、カメラを2台接続していても分割表示できません。分割表示する場合は、「表示するカメラを選択する」(p.39)を行なってください。

モニター画面をタップします。

- タップするたびに画面表示が切替わります。



### 2分割画面

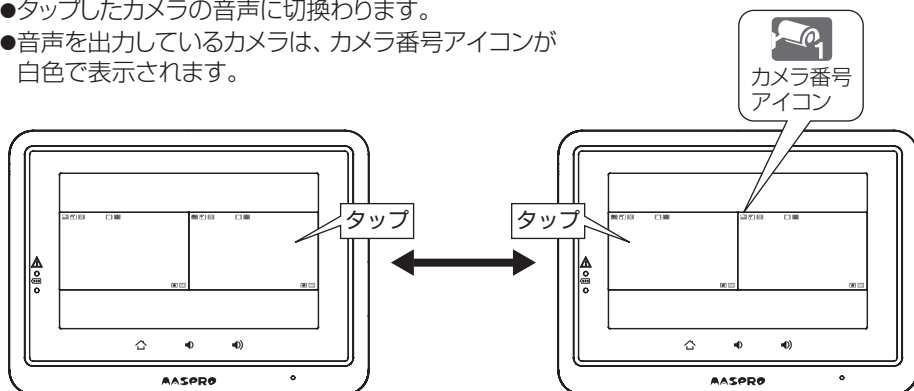
- カメラを2台接続している場合

## カメラ音声の切替え

画面を分割表示しているとき、音声を出力するカメラを切替えます。

音声を出力したいカメラ画面をタップします。

- タップしたカメラの音声が切替わります。
- 音声を出力しているカメラは、カメラ番号アイコンが白色で表示されます。



# カメラの音量を調整する

操作する

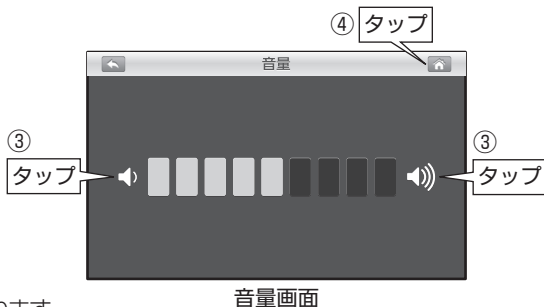
モニターから出す音量を調整します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「音量」をタップする  
●音量画面が表示されます。



- ③ または をタップして  
音量を調整する

: 音量が小さくなります  
 : 音量が大きくなります

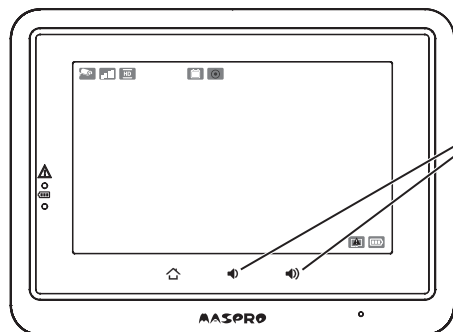


- ④ をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

## ご注意

- カメラとモニターが近くに設置されていたり、音量が大きかったりすると、ハウリング現象が起こりやすくなります。カメラとモニターを離したり、音量を下げたりして、ハウリング現象が起こらないようにしてください。
- 音量を最小にするとOFFになります。警報音の音量は変わりませんが、警報音量の設定については、「警報音量の設定」(p.37)をご覧ください。

モニターの音量ボタンからも音量を変更できます



音量ボタン

: 音量が小さくなります  
 : 音量が大きくなります

# 録画したカメラの映像を見る

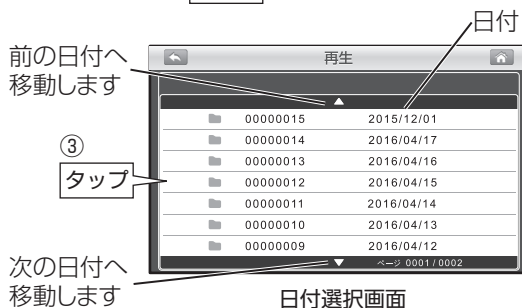
操作する

- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「再生」をタップする  
●日付選択画面が表示されます。



② タップ メニュー画面

- ③ 再生したい日付をタップする  
●時刻選択画面が表示されます。



③  
タップ

日付選択画面

- ④ 再生したい録画ファイルをタップする  
●再生画面が表示されます。




- ⑤ ▶をタップする  
●録画ファイルを再生します。




カメラの映像解像度を設定できます。

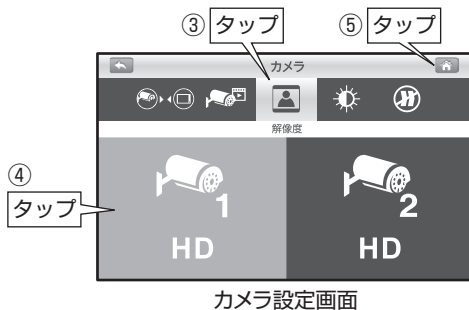
- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「カメラ」をタップする  
●カメラ設定画面が表示されます。



- ③  (解像度)をタップする
- ④ 設定するカメラ番号(1、2)をタップする  
●タップするたびに「HD」、「VGA」が  
切り替わります。

HD : 1280H×720V
VGA : 640H×480V

- ⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。




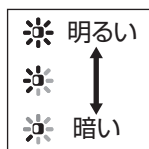
カメラ映像の明るさを設定できます。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「カメラ」をタップする  
●カメラ設定画面が表示されます。




メニュー画面

- ③  (明るさ)をタップする
- ④ 設定するカメラ番号(1, 2)をタップする  
●タップするたびに明るさが、  
8段階で切り替わります。



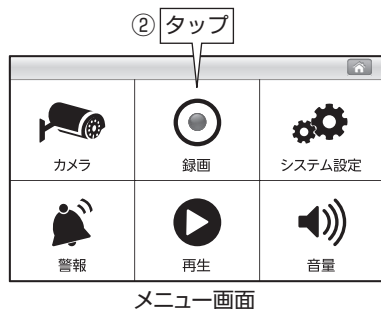
カメラ設定画面

- ⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

モーション検知録画するときの検知感度を設定します。

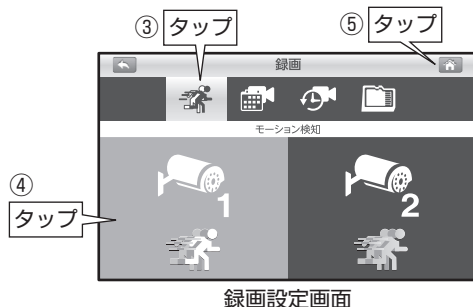
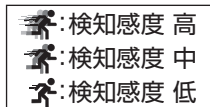
- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)


- ② 「録画」をタップする  
●録画設定画面が表示されます。



- ③  (モーション検知)をタップする

- ④ 設定するカメラ番号(1、2)をタップする  
●タップするたびに検知感度が切り替わります。




- ⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。


録画ファイルを何分単位で分割して保存するかを設定します。

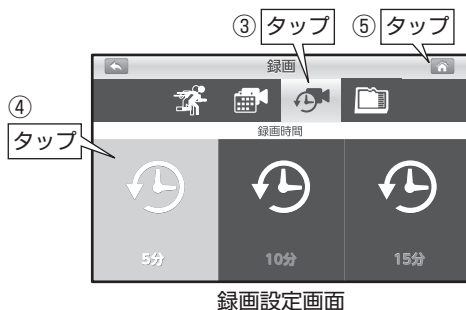
- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)

- ② 「録画」をタップする  
●録画設定画面が表示されます。



- ③  (録画時間)をタップする
- ④ 設定する録画時間(5分、10分、15分)を  
タップする

- ⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



## ご注意

- 録画は最後のモーション検知から30秒後に停止します。
- モーション検知が連続した場合、5分、10分、または15分の録画ファイルに分割して保存されます。

モニターに挿入されているmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。

① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)

② 「録画」をタップする  
●録画設定画面が表示されます。



③  (録画管理)をタップする


④ 「初期化」をタップする



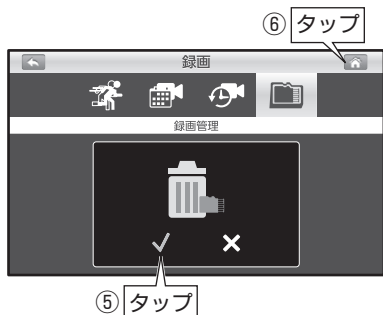
⑤  をタップする

- 初期化を開始します。
- 初期化には10分程度かかることがあります。

✓: 初期化を開始  
✕: 初期化を中止

⑥ 初期化が終了したら、 をタップする

- 設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。
- 初期化に失敗した場合、再度、④の手順からやり直してください。



## ご注意

モニター単体では、microSDカードの録画データのコピー・編集などを行うことができません。パソコンに接続して、コピー・編集などを行なってください。

録画に使用しているmicroSDカードの空き容量がなくなったときに、録画ファイルを上書き録画するか、上書き録画しないかを設定します。  
出荷時は「上書き録画する」に設定されています。

① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)

② 「録画」をタップする  
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

③  (録画管理)をタップする


④ 画面右側をタップして、上書き録画の設定  
を変更する  
●タップするたびに「上書き録画する」、  
「上書き録画しない」が切り替わります。



録画設定画面

上書き録画する :microSDカードの空き容量がなくなったときに、  
日付の古いデータを消去しながら、新しいデータ  
を記録します。

上書き録画しない:microSDカードの空き容量がなくなると録画を  
停止します。

⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

一定時間操作していないとき、設定した時間後に、モニターの表示を自動的にOFFにします。

パワーセーブ機能が作動したときは、モニター画面をタップして表示してください。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)



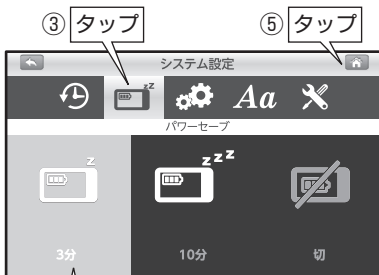
メニュー画面

- ② 「システム設定」をタップする  
●システム設定画面が表示されます。

- ③ (パワーセーブ)をタップする

- ④ 設定する時間をタップする

3分 : 3分後にモニター OFF  
10分 : 10分後にモニター OFF  
切 : パワーセーブ機能は作動しません



- ⑤ をタップする

●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

- ④ タップ システム設定画面

## ご注意

- パワーセーブ機能が作動して、モニター表示がOFFになっても、録画は継続して行われます。
- モーション検知録画設定時に、人感センサーで動くものを検知しても、パワーセーブ機能の作動中は、モニター表示はONになりません。
- パワーセーブ機能を「切」設定で長時間使用すると、液晶モニターの特性上、映像の残像が発生することがあります。


モニターに表示する言語を変更します。

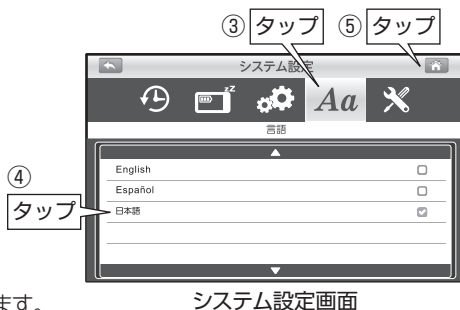
- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「システム設定」をタップする  
●システム設定画面が表示されます。



- ③ **Aa** (言語)をタップする
- ④ 設定する言語をタップする

English : 英語  
Español : スペイン語  
日本語 : 日本語

- ⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



# 初期値(工場出荷時の状態)に戻す

詳細設定



- 設定を最初からやり直す場合、設定を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。
- 初期値に戻しても、日時設定(p.19)、ペアリング設定(p.38)、録画ファイルは、変更・削除されません。

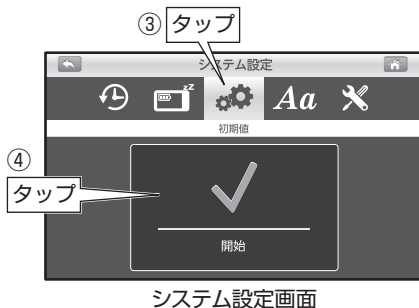
## ご注意


カメラを2台使用する場合、カメラ選択の設定を変更しないと、すべてのカメラ映像を表示できません。「表示するカメラを選択する」(p.39)の設定を変更してください。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「システム設定」をタップする  
●システム設定画面が表示されます。




- ③  (初期値)をタップする
- ④  (開始)をタップする  
●確認画面が表示されます。



- ⑤  をタップする  
●初期化を開始します。  
●初期化が完了すると、システム設定画面に戻ります。



- ⑥  をタップする  
●カメラ映像画面に戻ります。



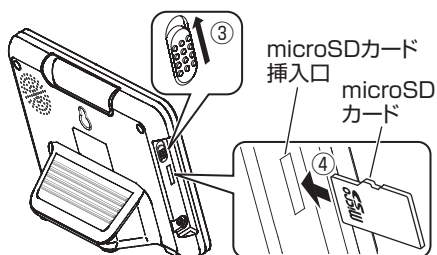
## ソフトウェアアップデートをする

最新のソフトウェアが提供されている場合、microSDカードを使用して、ソフトウェアアップデートを行います。



## ご注意

- アップデート中は、本機の操作をしたり、電源をOFFにしたりしないでください。モニター故障の原因となります。
- アップデートには時間がかかる場合があります。バッテリー電源ではなく、ACアダプターを接続して、アップデートを行なってください。

- ① マスプロのホームページから、最新のソフトウェアをダウンロードします。
- ② ダウンロードしたソフトウェアを、空のmicroSDカードに書き込みます。
- ③ モニターの電源を入れます。
- ④ ソフトウェアを書き込んだmicroSDカードを、microSDカード挿入口に挿入します。
  - 自動的にソフトウェアの更新が始まります。
  - ソフトウェアアップデートが完了すると、「ソフトウェア更新完了」のメッセージが表示され、自動的にモニターが再起動します。



## ソフトウェアバージョンの確認方法

- ① モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「システム設定」をタップする
  - システム設定画面が表示されます。
- ③  (ソフトウェアバージョン)をタップする
  - ソフトウェアバージョンが表示されます。
- ④  をタップする
  - カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面



システム設定画面

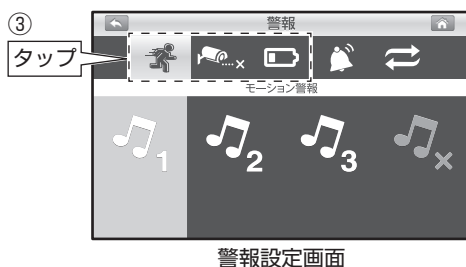
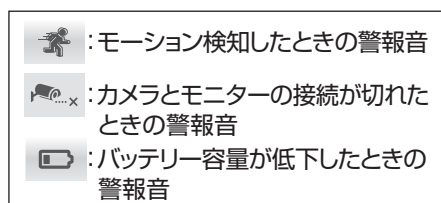
モーション検知したとき、カメラとモニターの接続が切れたとき、およびバッテリー容量が低下したときの警報音をそれぞれ設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押してメニュー画面を表示する(p.17)

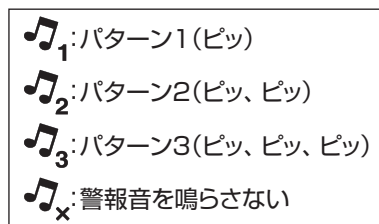
② 「警報」をタップする  
●警報設定画面が表示されます。



③ 設定する警報の種類をタップする



④ 設定する警報音(1～3またはX)をタップする



※「警報音を鳴らさない」に設定した場合、お知らせ表示灯(p.11)も青色点灯しません。


⑤ をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

## 警報音の停止方法


- 警報音を止めるには、モニター画面をタップするか、メニューボタンを押してください。
- 「パワーセーブの設定」(p.32)を「3分」または「10分」に設定している場合、パワーセーブ機能の作動中は、警報音が鳴っても、モニター表示はONになりません。

## 警報音量の設定

カメラの警報音量を設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「警報」をタップする
  - 警報設定画面が表示されます。
- ③  (警報音量)をタップする
- ④ 設定する警報音量をタップする



- ⑤  をタップする
  - 設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。





メニュー画面



警報設定画面

## 警報音の繰返し間隔の設定

警報の繰返し間隔を設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.17)
- ② 「警報」をタップする
  - 警報設定画面が表示されます。
- ③  (繰返し間隔)をタップする
- ④ 設定する繰返し間隔(15秒、30秒、1分)をタップする
- ⑤  をタップする
  - 設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面



警報設定画面

### 警報音の停止方法

警報音を止めるには、モニター画面をタップするか、メニューボタンを押してください。

# カメラを2台使用するとき

詳細設定

- カメラを追加する場合、カメラとモニターのペアリング設定をします。
- カメラの設置前に、ペアリング設定することをお勧めします。

## ご注意

増設カメラは、当社製品WHC7M-CまたはWHCHD-CIをご利用ください。  
当社製品WHC7M3-C、WHCFHD-CI、WHCFHD-D、WHCFHD-CL、WHC7M2-Cは、  
本機の増設に対応していません。  
対応しているカメラの最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

- ① 追加するカメラの電源を入れる
- ② モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)
- ③ 「カメラ」をタップする  
●カメラ設定画面が表示されます。

③

タップ



メニュー画面

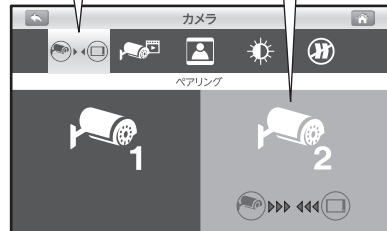
- ④ (ペアリング)をタップする
- ⑤ 登録したいカメラ番号をタップする  
●2台目を登録する場合、「2」をタップします。  
●画面下側に が表示されます。

④

タップ

⑤

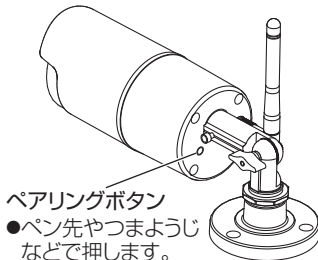
タップ



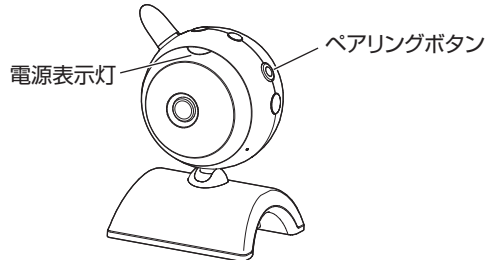
カメラ設定画面

- ⑥ 30秒以内にカメラの「ペアリングボタン」を押す  
●カメラ前面の電源表示灯が点滅します。

### WHC7M-Cの場合



### WHCHD-CIの場合



- ⑦ 設定が成功すると、カメラ映像が表示されます  
●設定が失敗すると が表示されます。  
再度、設定をやり直してください。

## ご注意

- カメラ選択の設定を変更しないと、モニターでカメラ映像を表示できません。  
「表示するカメラを選択する」(p.39)の設定を変更してください。
- すでにペアリング済のカメラ番号をタップしてペアリングすると、前のカメラ番号のペアリングが消えます。

# 表示するカメラを選択する

詳細設定



- カメラを2台登録しているときに、表示するカメラを選択します。
- 2台選択すると、画面を分割してモニターに表示することもできます。(p.23)

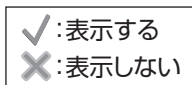
① モニターの「メニューボタン」を押し  
メニュー画面を表示する(p.17)


② 「カメラ」をタップする  
●カメラ設定画面が表示されます。



③  (カメラ選択)をタップする

④ 表示するカメラ番号(1、2)をタップする  
●タップするたびに 、 が切り替わります。



⑤  をタップする  
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



症状	確認内容	ページ
カメラの映像が出ない	カメラからのACアダプターが抜けていませんか。	13
	モニターに接続するACアダプターが抜けていませんか。	13
	モニターの電源がOFFになっていませんか。	11
	カメラの電源表示灯は点灯していますか。	10
	カメラとモニターの電波状態が悪くありませんか。	14
	モニターの充電がなくなっていないですか。	11
	モニターとカメラの電源を入れ直してください。	13
背景が黄色っぽく映る	室内の照明器具の明かりで、白い壁が黄色っぽく映ったり、色合いが変わったりすることがありますが、故障ではありません。	—
録画できない	microSDカードは入っていますか。	16
	microSDカードを初期化しましたか。	30
	上書き録画の設定になっていますか。	31
	録画設定に間違いはありませんか。	21
	カメラとモニターの電波状態が悪くありませんか。 電波の状態によっては、録画できないことがあります。	14
モーション検知録画が 作動しない	検知対象(人、物)までの距離が長くないですか。	41
	カメラの周囲温度は高くないですか。	41
再生できない	録画ファイルは保存されていますか。	25
	録画中にモニター電源をOFFにしていますか。	—
	モニターの電源を入れ直してください。	11
モニターの白色部分が モザイク状になる	本機の液晶モニターの特徴で、モザイク状になることがあります。異常ではありません。	—
夜間の暗視撮影が赤色 っぽい、または紫色っぽい	赤外線照射の光に赤色が混ざっているためです。 故障ではありません。	—

カメラ部

MASPRO

項目	規格	
イメージセンサー	1/4インチCMOSセンサー	
画素数	約92万画素(1280H×720V)	
撮影距離	約1.5m~∞	
撮影画角	水平:約60°、垂直:約34°	
撮影照度	0Lux以上(赤外線撮影時)	
赤外線照射距離	最長約10m <sup>※1</sup>	
防じん防水性能	IP66(軒下など直接雨がかからない場所を推奨します)	
赤外線人感センサー	検知距離 約7m(検知角 約60°) <sup>※2</sup> (夜間は検知距離が短くなります)	
内蔵マイク	あり	
無線通信	使用周波数帯域	2.4GHz(2400~2484MHz)
	変調方式	GFSK
	スペクトラム拡散	周波数ホッピング方式(FHSS)
	データレート	4Mbps
	映像方式	MPEG-4
	通信距離	最大300m(見通しがよく、電波の妨害のない環境において) <sup>※3</sup>
カメラ電源ケーブル長	約3.2m	
使用温度範囲	⊖10~⊕50℃	
電源	DC9V(ACアダプター使用):AC100V	
消費電力	5.5W(赤外線点灯時)	
外観寸法	66(H)×127.5(W)×62(D)mm (ACアダプター:72(H)×41(W)×35(D)mm)	
質量(重量)	約450g	

※1 暗所で良好に撮影が可能な距離は約半分になります。

※2 カメラを横切る動きは検知しやすく、正面から近付く動きは検知しにくくなります。また、夜間は検知距離が短くなります。その他、環境によって短くなる場合があります。

※3 無線通信距離は、見通しがよく他の電波の妨害を受けない環境において、最長300mです。カメラとモニターの間に壁など(木造壁・床、金属製のドア、コンクリート、鉄骨、金属の障害物)がある場合には、電波が減衰して通信できる距離が短くなります。[木造:約10~40mが目安となります。] (完全に電波の届かない構造の建物では通信できません。)

モニター部
**MASPRO**

項目	規格
モニターサイズ	5インチフルカラーモニター(800H×480V)
タッチパネル	静電式
カメラ接続台数	最大2台(2台同時録画可能)
録画保存	microSDHC/microSDXCメモリーカード(最大256GB)(クラス10以上) ●フォーマット形式:FAT32
録画解像度	1280H×720V(HD)／640H×480V(VGA)
録画モード	モーション検知、スケジュール、マニュアル
上書録画	可能(ON／OFF)
再生方式	本体モニター再生 ●録画ファイル形式:ASF
内蔵バッテリー	リチウムイオン(2600mAh)
充電時間／使用時間	充電時間:約4時間／使用時間:約2.5時間(録画時)
防じん防水性能	なし(非防水)
使用温度範囲	0～⊕40℃
電源	DC5V(ACアダプター使用):AC100V
消費電力	8.5W(最大負荷時)
外観寸法	110(H)×150(W)×52(D)mm (ACアダプター:77(H)×44(W)×38(D)mm)
質量(重量)	約290g

## お手入れとメンテナンスのご注意

- 本機や本機の付属品は、お子様の手が届かないようにしてください。
- カメラの性能に悪い影響があるため、カメラのレンズ表面に指紋や汚れを付けないでください。また、手でレンズ表面を触らないようにしてください。
- レンズが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 本機を分解しないでください、故障の原因となります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- ACアダプターは、必ず付属の専用ACアダプターを使用してください。

## 別売品

モニター&ワイヤレスHDカメラセット用  
増設カメラ

**WHC7M-C**



モニター&ワイヤレスHDカメラセット用  
増設カメラ(屋内用)

**WHCHD-CI**



- モニター 1台につき、最大2台まで接続可能です。

### ご注意

増設カメラは、当社製品WHC7M-CまたはWHCHD-CIをご利用ください。  
当社製品WHC7M3-C、WHCFHD-CI、WHCFHD-D、WHCFHD-CL、WHC7M2-Cは、  
本機の増設に対応していません。

対応している製品の最新情報は、下記のURL、またはQRコードからご覧ください。

<https://www.maspro.co.jp/global/products/whc/conn/set/s-m.html>



# モニター & ワイヤレスHDカメラセット

# 保証書

MODEL WHC5M

お客様ご住所			
TEL.	— —		
★お客様お名前			様
★保証期間(販売店記入欄)			
お買上げ日		年	月
日から1年間			
★販売店名・住所(販売店記入欄)			
TEL.	— —		

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

## 無料修理規定

○「取扱説明書」などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。

○ 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。

- ・ 本書のご提示がない場合。
- ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
- ・ 本書の字句を書換えられた場合。
- ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
- ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- ・ 不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・ お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ・ 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- ・ 一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
- ・ 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。

○ 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

**持込修理**

＝マspro電工株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80  
営業部 TEL名古屋(052)802-2244

# ＝マspro電工＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談



## 0570-091119

ナビダイヤル<sup>®</sup>。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**  
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)

製品向上のため仕様・外観は  
変更することがあります。

